愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育者論		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

保育者は、その存在自体が子どもの育ちにとってあらゆる面で「お手本」となる。また近年では、社会的ニーズからも保育・幼児教育の専門職としての保育者の役割はますます重要視されている。この授業では、まず保育職の制度的な位置づけや倫理・責務、求められる専門的スキルについて学修する。そのうえで家庭や地域、他の専門職や関係機関との連携についても学修し、保育者・保育職の専門性への理解を深め、質の向上につなげられる保育者像を獲得することを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、保育者の役割や職責、専門性に関する基礎的な理論を修得する。そして、修得した知識を活かして事例などを検討・考察する際には、ディスカッションやグループワークを実施する。ディスカッションやグループワークの事後には振り返りを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション、保育者の役割	保育者の役割や職務内容について理解する。	□
第2回	保育者としての倫理	専門職としての倫理、倫理綱領、子どもの立場について理解する。	□
第3回	保育職の資格と責務	保育職に必要とされる免許・資格や責務、社会からの期待について理解する。	□
第4回	保育者としての資質・能力	保育者として求められる専門性（資質・能力）について理解する。	□
第5回	保育における「養護」と「教育」	乳幼児期の特性と、保育における「養護」と「教育」の視点や一体的展開について理解する。	□
第6回	家庭・保護者との連携、地域子育て支援	家庭・保護者との連携や支援、子育て家庭や地域の子育て支援について理解する。	□
第7回	保育における計画・実践・評価	保育におけるPDCAサイクルと、具体的な評価の方法について理解する。	□
第8回	保育の質の向上	子ども理解、保育者自身の省察に基づく保育の質の向上について理解する。	□
第9回	園における職員間の連携	園の組織体制や、職員間の連携とその方法について理解する。	□
第10回	関係機関との連携	保育や子育てに関係する専門機関との連携について理解する。	□
第11回	地域社会との連携	現代の子どもを取り巻く状況をふまえ、保育者の地域社会との連携について理解する。	□
第12回	多様な保育ニーズに対応する保育	地域型保育事業の概要や、そこでの保育について理解する。	□
第13回	資質向上に向けた取り組み	保育者としての資質向上、そのための職員間の連携や協働、研修について理解する。	□
第14回	保育者としてのキャリア形成とリーダーシップ、マネジメント	保育専門職としてのキャリア形成、リーダーシップやマネジメントについて理解する。	□
第15回	まとめと振り返り	学修内容を振り返り、理想とする保育者像とそれに向けての取り組みを考える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストの予習（2時間）をする。授業後は配布資料や学修内容に基づいてまとめを作成（2時間）する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内の提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	保育職の制度的な位置づけや倫理・責務、求められる専門的スキルについて説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	自分の理想とする保育者像について根拠をもって設定し、それに向けての取り組みを説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマのまとまり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワークでは積極性や事後の省察を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		